

2016年7月理事会議事録

日 時：2016年7月23日（土）14：00～17：00

場 所：日本考古学協会事務所

出 席：谷川章雄・石川日出志・近藤英夫・大島直行・岡内三眞・岡山真知子・小澤正人
・菊池誠一・久保田正寿・佐々木和博・佐々木憲一・佐藤宏之・篠原和大・杉井
健・関根達人・都築恵美子・新納 泉・橋本裕行・堀内秀樹・宮本一夫、監事：
唐澤至朗・吉田哲夫、（事務局：林 純子・堀田菜摘子）

欠 席：小笠原永隆・瓦吹 堅・矢島國雄・長瀬 衛

進 行：新納 泉

議 長：谷川章雄

新納理事から、本日の出席者は22名で過半数に達しており、本理事会が成立することが報告され、議事に入った。

会員の訃報について

新納理事から、東京都の合田芳正会員が2016年7月11日に亡くなられたとの報告があり、哀悼の意を表した。

議案第355号 日本考古学協会賞選考委員について

石川副会長から、日本考古学協会賞選考委員について、①理事会からは石川副会長と機関誌担当の関根理事が担当すること、②会員からは4名の委員候補者の推薦があり、原案通り承認した。

議案第356号 平成28年熊本地震対策特別委員会委員の選考について

宮本理事から、6月理事会議案第346号で継続検討事項となっていた平成28年熊本地震対策特別委員会委員として、佐藤理事が加わるとの説明があり、承認した。

議案第358号 入会審査について

佐々木和博理事から、2017年度新入会員（正会員）の入会資格審査日程、並びに入会資格審査委員候補者案の提示があり、原案通り承認した。

議案第359号 広報委員会委員の選考について

近藤副会長から、広報委員会の主な課題として前年度から継続事業の公式サイトのリニューアルがあり、前担当理事の小川望会員と馬淵和雄会員、前広報担当総務理事の田中和彦会員を委員に推薦したいとの説明があり、原案通り承認した。

議案第360号 賛助会員について

石川副会長から、賛助会員について、協会の裾野を広げることを目的として準備を進めており、これまでの検討過程が説明された。2015年8月発行の会報第185号での意見募

集を受け、その後、さらに整備を進めたところ、日本考古学協会定款や日本考古学協会規則との整合性をとる必要が出てきたため、「賛助会員に関する規定（案）」並びに「賛助会員に関する内規（案）」を修正したとの説明があった。審議の結果、賛助会員の会費額や、主に学生会員について入会申込みや学籍期間の課題等の検討が必要であり、継続して審議を行うこととなった。

議案第361号 退会の承認について

新納理事から、愛知県の*会員から2015年度をもつての退会届け、埼玉県*会員からは2016年度をもつての退会届けが提出されている旨の報告があり、退会を承認した。

報告第494号 2016年度大会について

関根理事から、2016年度弘前大会時の理事役割分担（案）の説明があり、了承した。

報告第495号 平成28年熊本地震対策特別委員会報告

宮本理事から、7月17日（日）に、埋蔵文化財保護対策委員会九州・沖縄連絡会及び九州考古学会と合同で、平成28年熊本地震における文化財被災状況の視察を行った。視察後、続けて第1回特別委員会を開催し、①委員長に宮本理事、副委員長に杉井理事を選出した。②城郭や古墳などの地上に現れている遺跡の被害が非常に多いことが今回の視察によっても把握されたため、被災状況を公式サイトに掲載するなど、広報活動を行う必要がある。③会長声明を10月の2016年度弘前大会に合わせて表明する準備を進める。④来年度の総会で、特別委員会として文化財の被災状況についてのセッションを行う予定である、との報告があり、了承した。また、公式サイトへの掲載については広報委員会に協力が要請された。

報告第496号 協会図書について

近藤副会長から、7月2日（土）に、長瀬事務局長と奈良大学図書館を訪問し、協会図書の残る課題について協議を行った。協会図書の整理状況については、①一括寄贈分については、来年度上半期までに登録予定である。②一括寄贈後に送付いただいた図書については、一括寄贈分の整理終了後に、順次整理・公開する。③新たに日本考古学協会に寄贈される図書については、直接、奈良大学図書館に送付できるようにする方向性で検討している、との報告があり、了承した。

報告第497号 文化遺産防災ネットワーク推進会議報告

佐藤理事から、6月30日（木）に文化遺産防災ネットワーク推進会議の臨時連絡会が開催され、近藤副会長と佐藤理事が出席した。熊本地震被災文化財レスキュー事業について、事業体制の説明があり、各団体に協力が求められたとの報告があり、了承した。

報告第498号 WAC-8について

宮本理事から、第8回世界考古学会議（以下、WAC-8）のオープニングセッションで行われる日本考古学協会主催の公開講演会についてプログラム・参加方法等の説明があり、

会長挨拶について確認された。また英文機関誌編集委員会では、JJAワークショップ「英文査読誌に投稿しよう！」を、期間中の昼食時間帯に行う予定である。続けて、佐藤理事から国際交流委員会を中心に準備を進めている「日本考古学フェア」について補足説明があり、了承した。

報告第499号 陵墓報告

新納理事から、①7月8日（金）に宮内庁との陵墓懇談を行い、14学協会18名が参加した。また懇談に先立ち、明治大学博物館会議室において全体会議を行い、今年度の運営委員会の役割分担、及び宮内庁の方針変更についての報道や本年度の陵墓保全整備工事について協議した。②8月7日（日）にシンポジウム「『陵墓』公開をめぐる成果と未来」を開催するとの説明があり、了承した。

報告第500号 国際交流委員会報告

小澤理事から、WAC-8の「日本考古学フェア」のポスターセッションにおいては、過去及び今年に英文サイト掲載の英文コンテンツから20個の遺跡を選び紹介するポスターを作成し、準備を進めているとの報告があり、了承した。

報告第501号 埋蔵文化財保護対策委員会報告

近藤副会長から、2016年度7月幹事会議事録の提示があり、①北九州市城野遺跡の保存と活用に関する再々要望書を提出する準備を進めている。②鎌倉市円覚寺西側結界遺構について、文化庁や鎌倉市文化財専門委員会等から遺構の価値の検討並びに保護・保存を図る必要がある旨の意見が出されたことから、今後の動向について一層注視する必要がある。また、日本歴史学協会が保存を求める声明を提出する予定であり、声明文への参画が求められた。過去の経緯を踏まえ、埋蔵文化財保護対策委員会委員長名で対応する。③三原市和霊石地蔵磨崖仏の保存問題について、現状を確認し、早急な保存方策を求める。④文化庁記念物課と8月に懇談を行う予定で調整しているとの報告があった。

また、唐澤監事から、埋蔵文化財保護対策委員会規定に定められた役員以外の幹事会議事録の記載について指摘があり、訂正が求められ、了承した。

報告第502号 広報委員会報告

小澤理事から、新公式サイトの構成と今後の作業工程の説明があり、協会の概要や入会案内といった基本情報の整備はほぼ完了したが、各委員会からの情報発信については、順次整備を進め充実を図るとの説明があり、了承した。

報告第503号 2017・18年度総会・大会の開催地について

岡山理事から、2017年度の総会は5月27日（土）及び28日（日）に大正大学で、大会は宮崎県で10月下旬に開催予定である。また、2018年度については総会は明治大学で、大会は静岡県で開催を予定しているとの説明があり、了承した。また、公開講演会の開催地についても各理事に候補地の推薦が依頼された。

報告第504号 第38回（平成28年度）沖縄研究奨励賞推薦応募について

佐藤理事から、標記の応募の説明があり、各理事に推薦への取り組みが要請された。

その他

（1）科学研究費助成事業の実地検査について

篠原理事から、独立行政法人日本学術振興会から、科学研究費補助金（研究成果公開促進費）の経理管理状況や事業の実施状況について、実地検査及び意見交換を実施するとの通知があったとの説明があった。

（2）教科書会社への教科書の誤りの指摘の取扱いについて

谷川会長から、6月理事会の社会科・歴史教科書等検討委員会報告において取扱いのあった教科書の誤りについては、委員会で情報収集に努めた上で、教科書会社への指摘方法についてはその時点で理事会での検討を行いたいとの説明があった。

以 上